

障がい者雇用という点、どのようなイメージを持ちますか。

障がいのある人の働く環境が必要だと分かっていても、どのような仕事ができるのか、会社の利益につながるのかなど、いろいろと疑問に思う人が多いのではないのでしょうか。

このように、障がい者雇用はひとごとのように思われがちですが、実は多くの障がい者が、鹿屋市内をはじめ大隅地域の様々な企業で普通に働いています。

特に発達障がい、知的障がい、精神障がいのある人は、外見では健常者と変わらないので、多くの人が気付かないままにいるのかもしれない。

### 障がい者雇用率制度

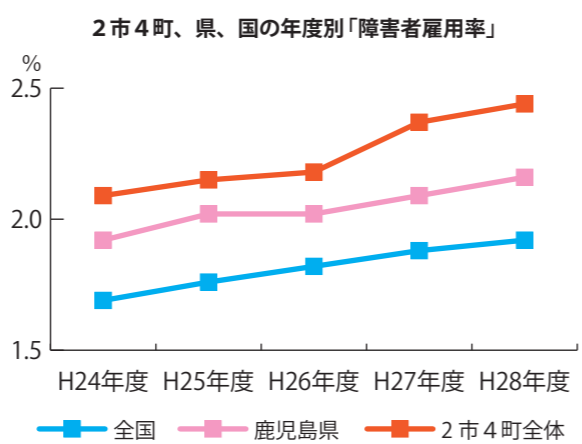
「障害者雇用促進法」に規定されている「障害者雇用率制度」では、従業員50人以上の民間事業主は、従業員の2.0%に相当する数以上の障がい者を雇用しなければならぬ(法定雇用率)と定められています。

雇用義務を履行しない事業主は、行政指導が行われるほか、その後も改善が見られない場合は、企業名が公表されます。

なお、「ハローワークかのや」管内である2市4町(鹿屋市・垂水市・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町)全体の年度別障がい者雇用率を見ると、全国、鹿児島県に比べ、高い雇用率であることが分かります。

しかし、法定雇用率を達成した企業は全体の約75%。残りの25%の企業は未達

成というのも事実です。



### 障がい者雇用の今後

「障害者雇用促進法」は、おおむね5年ごとに見直され、平成30年4月からは、対象となる事業主の範囲が、従業員50人以上から、45.5人以上に広がり、法定雇用率も現行の2.0%から2.2%に変更されることが決まっています。

ワークシェアリングの促進、職場環境の改善など、企業への効果があるとも言われる障がい者雇用。求職する障がい者が毎年増え続けている中で、障がい者雇用は、今後ますます重要視されると言われています。

ここでは、先進的に障がい者雇用に取り組んでいる2つの企業を紹介します。

#### INTERVIEW



### 働ける喜びをかみしめて

めいとま 命苦 健一 さん(27歳)

「仕事は、施設内の掃除、外の環境整備、ごみの分別作業などを行っています。施設の利用者の皆さんや子どもたちに、『ありがとう』とか、『お兄さん』と言われるのが、すごくうれしいですね。大変なこともありますが、楽しい職場です。今の仕事を続けながら、自立して、結婚し、両親に家を建ててあげることが目標です。将来に向けて今後も頑張っていきたいです」



浴室の清掃を行う命苦さん

【プロフィール】平成20年3月に鹿屋養護学校を卒業後、市内外の社会福祉法人で就労継続支援を利用。平成26年6月、株式会社笑仁翅で、介護補助や清掃業務を約2週間実習。働きぶりやあいさつ、「報告・連絡・相談」がしっかりできることなどが評価され、同年7月、同社に採用された。



命苦健一さんと井上チエ子さん(株式会社笑仁翅)

## 障がい者雇用について考えてみませんか 共に働き、共に喜びを

### 一緒に働けることが嬉しい

株式会社笑仁翅(田崎町)は、有料老人ホーム、訪問看護、訪問介護、保育園の4つの事業を行う幼老複合施設で、平成25年に設立されました。

現在スタッフが49人と、障がい者の法定雇用の該当企業ではありませんが、このうち精神障がい者1人、知的障がい者1人を雇用しています。

同社取締役施設長の井上チエ子さんは、会社設立の段階から、障がい者と一緒に働くことが目標だったと言います。

### 「会社」が軌道に乗った頃のいいタイミングで、おおすみ障害者就業・生活支援センターから、障がい者雇用について紹介いただいたのがきっかけです。

施設の利用者には重症の方もいらっしゃるのですが、スタッフには、どんな方でも受け入れましょうと平日頃から言っています。また看護師や介護職のスタッフには、専門職を全面に出して仕事をするのではなく、みんなで、この施設での仕事を仕上げていくようにと呼び掛けています。このことを理解してくれる職員がそろっていることで、障がい者雇用には安心して取り組んでいます。

知的障がいのある命苦健一さんは、平成26年に採用しました。主な仕事は清掃作業。一生懸命に仕事をしてくれて、他のスタッフともコミュニケーションがとれており、よく相談もしてくれま

す。彼がうまく作業ができない時は、作業ができるようにと、スタッフが作業場の周囲を工夫している場面を見かけ、微笑ましく思うこともあります。

今年4月からは、『リサイクル担当』の責任者の任を与えました。責任を持って仕事をもらったほうがいいと思ったからです。障がいのある方が楽しく明るく仕事をしている姿を目にして、大変嬉しく感じています」



株式会社 笑仁翅 取締役施設長 井上チエ子さん